

東京都支部 DPC 実践研究会のご紹介

□活動指針

当研究会は DPC データを活用した研究・分析活動を通じて、DPC 病院及び地域医療の発展に貢献することと、DPC データを活用した各種コンサルティング手法およびツールを開発することを活動方針とします。

□概 要

近年 DPC に関する実務が医業経営コンサルタントに課せられるケースが増えてきています。又、厚労省からの医療機関別公開データ等が公表されています。東京都支部として、このような環境の中で前向きにこの状況を乗り越えられる人材を育成することを目的に DPC 実践研究会を創設するに至りました。

平成 26 年度 4 月で、全国の病院 7,493 件の内 DPC 病院は約 1,585 件で、その内 200 床以下の中小病院は 573 件約 36%が DPC 病院となっています。特に中小病院は地域で生き残りをかけて奮闘しています。医業経営コンサルタントとして、これらの顧客に十分な知識と知見、及び人脈を持って対処するために研究会で切磋琢磨して対応しなければならないと考えています。

- ・東京都支部に付属する研究会として 2 年前から実施しています。
- ・月に 1 回程度グループ活動を行い、あくまで会員のスキルアップの自主的な活動です。ですから履修登録時間の範囲外という位置づけです。
- ・研究会参加メンバーは未経験でも良く DPC の勉強・研究に意欲のある会員とします。
- ・会員が自主的に収集した題材や研究成果をもとに、自由に討論します。
- ・年に一度の日本医業経営コンサルタント学会に研究会としてテーマを決めて一般演題で参加できるレベルで活動を行います。

○具体的研究項目

- ・公開された DPC データの使い方、注意点、解らない点などの解消のために、講師による講義を行います。
- ・DPC の実態を把握するために、DPC 病院のヒアリングを行います。
- ・個別の DPC 病院のデータを受領して環境分析を行います。
- ・初心者向けに具体的な DPC 実務の内容をまとめた手短なツールを作成します。
- ・研究会会員内の討議で方向付けや作業を行います。

○現会員：26 年 3 月現在 15 名

〔医業コンサル、税理士、組合監査、医療機器メーカー、製薬会社、製薬卸、ゼネコン、准教授、中小企業診断士等〕

□経緯：

東京都支部の調査研究委員会で 2012 年 5 月 24 日 DPC 研究会第 1 回例会を立ち上げました。その後、10 月第 5 回例会でフリーソフト Qlik View の活用が提案され、日立 INS

ソフトウェア㈱の DPC 分析ハンズオンセミナーを東京都支部 DPC 研修会参加者から募集して 2 回実施しました。DPC 研修会と DPC 分析セミナーへの参加者アンケート調査を実施してこのソフトの活用に対して一定の評価を得ました。昨年からは研究会員である医療総研㈱の畑山が講師を務め日立 INS ソフトウェア㈱のフリーソフト Qlik View を使って公開データ分析のセミナーを研究会の中でも開催しています。

□最近の活動内容

研究テーマの基本は「公開 DPC データによる DPC 病院へのアプローチ」です。基本は厚生労働省が公開している DPC データを利用して特定の病院の地域分析及び内部分析をする手法を模索して誰でもが使える解析ツールまでに高めることにあります。

- ・クラウド型コラボレーションツール「サイボウズ live」を利用しております。
- ・研究会は主として参加できる会員の勉強会方式で、その回のサブテーマを、会員が自主的に収集した題材や研究成果をもとに、自由に討論します。
- ・研究の実際は、現場の実務情報を基に、文献リサーチなどの定性分析や深掘りしたりテーマについての仮説の構築、データの収集や分析による定量分析、そして研究成果を共同でまとめます。
- ・厚労省公表の DPC データを使ったコンサルティング手法の研究として、例えば、DPC データの使い方、問題点、誤差などの分析等があります。
- ・年間のスケジュールは、本協会の学会での「事例研究発表」をゴールとし、「テーマの設定」「DPC 病院のヒアリング等」「実際の DPC 病院の内部データの分析」「テーマの深掘り」「まとめとしての絞込み」「スライド作り」というサイクルが基本となります。その結果として会員の実務に役に立つツールができれば良いと考えます。

□研究会連動 DPC 研修会：支部としては教育研修委員会が、研究会関連で DPC 研修会を開催しております。これは有料で履修登録時間も付きます。

2012 年実施

第 1 回 5 月 18 日 DPC 改正内容等の解説

第 2 回 6 月 15 日厚労省公表 DPC データを用いた分析手法

(㈱リーズンホワイ塩飽社長)

第 3 回 7 月 20 日 DPC 病院でのコンサルティングの実際その 1

(㈱アイブレイン今西陽一郎先生)

第 4 回 9 月 14 日 DPC 病院におけるコンサルティングの実際その 2

(㈱日本政策投資銀行 企業金融第 4 部医療・生活室調査役沖本佑介先生)

第 5 回 10 月 19 日 DPC 病院におけるコンサルティングの実際その 3

(IMS 本部事務局経営戦略室大竹事務長)

2013 年実施

- 第1回 5月16日 DPCの基礎 (多摩大学石富充先生)
- 第2回 6月21日 DPC病院における経営戦略について (等潤病院院長伊藤雅史先生)
- 第3回 7月19日 DPC病院でのコンサルティングの実例
(システム環境研究所松下学先生)
- 第4回 9月19日 DPCにおける ICD コーディングの活用について
(日本コーディングセンター所長菊地優子先生)
- 第5回 10月17日 DPC病院でのコンサルティングの実例
(アイブレイン今西陽一郎先生)

2014 年実施

今年 5 回とも石川ベンジャミン光一先生 (国立がんセンターがん対策情報センターがん統計研究部がん医療費調査室長) に研修会の講師をお願いして実施しております。DPC 実践研究会にも時間の許す限り参加して戴く予定にしております。今年度の DPC 研修会は申し込みが終了しております。来年度も同様な DPC 研修会を実施する予定ですのでご期待ください。

□日本医業経営コンサルタント学会：

- ・2013 年度の秋田大会での学会発表テーマは「公開データを用いた地域医療圏分析の活用について」を一般演題としました。コストがかからず応用力の高いフリーソフト QlikView を用いたデータ解析により地域の状況と自院のポジショニングを検討し、実際の病院での評価を得たシナリオを発表しました。
- ・今回の研究テーマの基本は「(仮称)某中小 DPC 病院の内外環境分析事例」です。基本は厚生労働省が公開している DPC データを利用すると共に、特定の病院の地域分析及び内部分析をする手法を模索して誰でもが使える解析ツールまでに高めることにあります。

□QlikView セミナ: データ解析フリーソフト QlikView のハンズオンセミナーも例会とは別に実施しています。

□質問先

又、ご不明な点がございましたらご気軽にご連絡ください。

東京都支部 DPC 実践研究会

運営責任者： 吉崎 隆 (東京都支部理事) 携帯：090-5434-8780

E-mail： takashi.yoshizaki@toda.co.jp

リーダー：畑山宏大 (医療総研株式会社) 携帯：090-2998-6773

E-mail： hatayama@iryo-soken.co.jp